

錦林だより

Kinrin-s@edu.city.kyoto.jp

臨時号

平成30年3月20日
京都市立錦林小学校
校長 中澤 明美

平成29年度後期学校評価結果のお知らせ

保護者の皆様にはお忙しい中、学校評価にご協力いただきありがとうございました。およそ81%の回答をいただきました。皆様からのご意見、また児童へのアンケート結果、教職員の自校評価をふまえ、継続していくべきところ、改善していくべきところを明らかにし、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。

【アンケート方法】

前期の実施同様、アンケートの項目を（1）学校教育に関すること （2）子どもの学校生活に関すること （3）家庭や地域での生活に関すること （4）PTA活動に関すること のグループに分け、それぞれの項目につき「重要度—実現度」を尋ねる形式にしました。この二つを相互に関連させたとき、重要度、実現度ともに高い項目は、比較的肯定的なご意見が多く、重要度が高く実現度が低い項目は本校の課題とみることができます。

【アンケート結果より】（全項目は掲載できませんので、ご了承ください。）

「よくできている」と「大体できている。」を合わせた数値を「実現度」と表記しています。

◆「(1) 学校教育に関すること」の実現度について

| | | 前期 | 後期 |
|---|--|-------|-------|
| 1 | 学校は、めざす学校像(学校愛・地域愛にあふれる学校、あたたかい言葉が学校中にあふれ確かな努力が見つけられる学校)に向かって努力している。 | 94.0% | 95.6% |
| 2 | 学校は、子ども一人一人を大切にした教育を進めている。 | 92.1% | 92.7% |
| 3 | 学校は、確かな学力をつけるための教育を進めている。 | 87.4% | 89.4% |
| 4 | 学校は、地域を大切にした教育を進めている。 | 96.0% | 96.5% |
| 5 | 学校に、気軽に相談ができる。 | 87.1% | 88.0% |
| 6 | 学校は、学校便りやホームページで学校の様子を伝えている。 | 97.0% | 96.4% |

多くの項目において前期よりも高い評価をいただきました。特に「よくできている」との評価を比較すると、ほとんどの項目で10%の上昇がみられました。年間を通じて学校・担任と家庭、

地域の関わりが深まり、子どもたちの成長を通して学校の取り組みについて、深くご理解いただいているのではないかと感謝しております。ただ、項目の3及び5につきましては80%台と、他項目と比べて少し低く今後の課題としてしっかりと校内でも共有し、次年度に繋げていきたいと思っております。

◆「(2) 子どもの学校生活に関すること」の実現度について

| 1 「あいさつできる子」に育ってきている。 | 前期 | 後期 |
|----------------------------|-----|-------|
| (児童：自分からすすんであいさつをしている。) | 児童 | 88.6% |
| (教職員：気持ちよくあいさつする態度を育てている。) | 保護者 | 83.9% |
| | 教職員 | 80.5% |

登校時の見守り隊の皆様や地域の方々に日々声をかけていただいていることや、ご家庭でのお声かけ、学校での取り組みなどが生き、年々しっかりと挨拶ができる児童が増えてきているように思われます。自由記述欄に、見守りも兼ねてお子さんと一緒に登校されている保護者の方から「門のところで初めて会った児童から元気よく朝の挨拶をしてくれることが多い。とても素晴らしい児童が多く感心している。我が子も大きな声で挨拶する姿を見て嬉しく思っている。」と書いてくださっていて、学校としても大変嬉しいです。しかしながら、朝の登校の様子を見ていると、地域の方に声をかけていただいているのに、小さい声で挨拶をしていたり、無言で通り過ぎたりしている子どもたちも見られます。これからも、きちんとできている子どもたちをしっかりと褒め、子どもたちの間でも進んで挨拶をすることのよさが広がっていくよう取り組んでいきたいと思います。

| 7 子どもは進んで本を読んでいる。 | 前期 | 後期 |
|-------------------------------|-----|-------|
| (児童：本を読んだり、本で調べたりすることが好きである。) | 児童 | 80.1% |
| (教職員：読書に興味を持てるような取組をしている。) | 保護者 | 59.0% |
| | 教職員 | 69.4% |

この項目は毎年実現度が低い項目ですが、図書館の本の貸出総数を前年度と比較すると、全学年増加しています。「おはなしパレット」の皆様による、毎週火曜日の読み聞かせの取組や学校運営協議会図書活用部会・本校の司書教諭による図書館や本の広場の環境整

| | 平成28年度 | 平成29年度 |
|----|--------|--------|
| 1年 | 2,290 | 2,945 |
| 2年 | 1,413 | 1,922 |
| 3年 | 1,099 | 1,727 |
| 4年 | 1,277 | 1,614 |
| 5年 | 918 | 985 |
| 6年 | 816 | 982 |

備、校内での図書委員会による図書イベント等により、図書館へ行き本を手に取る機会がかなり増えてきたと考えられます。また、各学年でも国語の取組を通して様々なジャンルの本に触れる機会を持つことも続けています。貸出冊数の増加が進んで本を読む子の数の増加に直接つながるかどうかはわかりにくいところですが、本に興味を持つ子どもが増えているとみることもできるのではないかと思います。学年別でみるとやはり高学年になるほど貸し出し冊数が少なくなる傾向にあります。高学年ほど一冊にかける時間が長くなることや、校内での役割も多くなり休み時間に図書館に行く時間が減るなど、図書館へ行く機会が減っていることも考えられますが、学年が上がっても、低学年でみられるような本への興味が持続するように今後も様々な取組を考えていきたいと思います。(自由記述欄より「本の広場はとても素晴らしいところだと思う。子どもたちがそれぞれ自由に本を広げられる点と、本のディスプレイが魅力的で、本を手に取る機会を増やしていると思います。

| 5 「ねばり強く努力する子」に育ってきている。 (児童:がんばることを見つけて、努力している。挑戦している。) (教職員:何事にも挑戦しようとする態度が養えている。) | | 前期 | 後期 |
|---|-----|-------|-------|
| | 児童 | 87.4% | 91.3% |
| | 保護者 | 63.8% | 70.9% |
| | 教職員 | 83.3% | 79.2% |

この項目も全体と比較して実現度の数値が低く課題とみられる項目ですが、児童・保護者ともに後期の結果が少し増加しています。子どもたちは大きな行事を経験するたびに達成感とともに自信をつけ成長しています。自由記述欄に「学芸会で和太鼓をしていたが、子どもの生き生きとした姿にとても感動した。私生活でもその変化が出でていた。この達成感などが学習にもつながっていっている様に思った。」と書いていただいておりました。これら学校・学級という集団の中だからこそできる経験を通して「努力は必ず何らかの形で報われる」ということへ結びついていって欲しいと考えています。

◆「自由記述欄より」～その他たくさんの貴重なご意見をいただいております。～

※紙面の都合上、全ての記述について掲載できないことをご了承ください。

- 兄弟がいるので参観・懇談会にゆっくり参加できない。一度試験的に、高学年・中学年・低学年または高学年・低学年と分けて実施していただきたいと思います。
⇒年度初めの四月の授業参観・懇談会は2・4・6年生とゆめいろ・1・3・5年生の2日に分けていますが、それ以降は全て同日に実施しておりました。じっくり授業参観や懇談会へ参加したいというお気持ちありがとうございます。しかし、参観日を別日になるとお仕事をされている方は2日間休みを取る必要がでてきてしまうというご意見もあるようです。来年度の検討事項の一つとして校内で検討していきたいと思います。

・校門のセキュリティーが心配です。

⇒本校は実に来校者が多く、地域の方や保護者の方に気兼ねなく来校していただくためにも完全な施錠は難しいのですが、以前よりご意見をいただいており、学校側も気になっている点でありましたので昨年度後半より改善を進めております。施錠までは致しませんが、登下校時以外はすべての門を閉めております。(東側職員室勝手口前の門は開けております。また、東門のみ中間休みと昼休みの時間は開けています。)また、北門及び東門、体育館裏2カ所に人感センサー付のライトを設置いたしました。これら環境面での整備に頼りすぎることなく、今後も「人の目」でしっかりとセキュリティーに気を配っていきたいと思います。

・安全面を考慮して、毎日規則正しく下校させていただくと有難いです。

⇒授業の開始終了時刻は全校統一できていますが、授業終了後の「帰りの会」の時間が学級によって違っていることがあり、ご心配をおかけしている面もございました。大変申し訳ございませんでした。終学活の時間もクラス作り・人間関係作りの大切な時間と捉え、時間が長くかかってしまうことがあるようでした。来年度は授業終了時刻とその後の終学活の時間も含めて、学年ごとにしっかりと統一していきたいと思います。また、放課後に残って学習を行う場合も、ご家庭と連絡をしっかりと取ったうえで行っていくことを原則としていきたいと思います。

【お礼】今回多くのご意見をありがとうございました。温かいご意見をたくさんいただきたことは、大変励みになっております。今年度はアンケートの在り方についてもご意見をいただきており、来年度はアンケートの項目を再考していきたいと考えています。皆様のご意見がより反映されやすいもの、また、保護者・児童・教職員のアンケート項目の関連性がより高くなるようなアンケート項目の設定を行っていきたいと思っております。

子どもたちが錦林小学校で過ごす日々が、より一層充実したものとなるよう、これからも全教職員で取り組んでいきたいです。本紙に掲載させて頂いたご意見以外にもたくさんのご意見をいただきしております。2月28日(水)の学校運営協議会でも学校評価アンケートの結果を議題の一つとして取り上げ、ご意見をいただいております。これら学校評価についての結果やご意見は校内でも共通理解を図り、引き続き改善を進めていきたいと思います。今後も家庭・地域との連携を大切にしながら、錦林校での教育をよりよいものにしていきたいと考えております。より一層のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

